

日本建築学会北海道支部 2011 年度 第 2 回常議員会議事録

記録：後藤

日時：平成 23 年 10 月 19 日（水）18:32～19:52

場所：北海道建設会館ビル 地下 1 階 B 会議室

出席：支部長：角

常議員：稲川、岡本、本井、山本、横山、大條、後藤、斉藤、田村、前田、渡邊

代議員：駒木、岡田、星野

総務委員会委員長：菊地（監事の出席は無し）

事務局：菊地

I. 配布資料

- | | |
|---|----------------|
| 1、前回常議員会議事録の確認 | 資料 2-1 |
| 2、理事会・支部長会議報告（支部長より） | 資料 2-2 および回覧資料 |
| 3、支部経理報告 | 資料 2-3 |
| 4、「北海道建築設計会議」の報告について | 資料 2-4 |
| 5、第 3 6 回北海道建築賞の報告について | 資料 2-5 |
| 6、技術士会との交流会の報告について | 資料 2-6 |
| 7、構造専門委員会主催見学会（2 件）について | 資料 2-7 |
| 8、北方系住宅・環境工学専門委員会共催見学会について | 資料 2-8 |
| 9、特色ある支部活動について | 資料 2-9 |
| 10、次期役員選挙（支部長、代議員および常議員）について | 資料 2-10 |
| 11、委員の委嘱について（追加） | 回覧資料 |
| 12、後援、共催依頼について | 回覧資料 |
| ①北海道大学より「サステイナブルキャンパス構築のための国際シンポジウム」 | |
| ②（社）空気調和・衛生工学会北海道支部より「北海道地区講演会」 | |
| ③NPO 小樽ワークス「札幌ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展（小樽巡回展） | |
| ④北海道より「平成 23 年度地震防災セミナー」 | |

司会：岡本

II 議事内容

- 1 前回（2011 年度第 1 回常議員会）議事録（案）の確認（斉藤／資料 2-1）
主要なポイントを朗読し承認した。下記の補足説明がされた。
11.荒谷先生の教育賞推薦は、本部委員会の都合(推薦順位)により取り下げるようになった。(角)
8.支部災害調査研究基金は 9 月に申請者へ支給した。(菊地)
- 2 理事会・支部長会議報告（支部長より）（角／資料 2-2、回覧）
◇理事会 支部関連事項について説明を行った。
 - ・学会の一般社団法人への移行に伴い、規程整備の作業中である(理事会資料 No.13-3)
学会組織では、正副会長会議の廃止、選挙管理委員会の独立、特別調査委員会の表示変更(個別委員会名を外す)、総合論文誌委員会の廃止があった
 - ・実態の無い委員会の規程類の廃止(同 No.13-5)が挙げられたが、会友の規程(13,14)については残す方向で検討

- ・学会活動の活性化の取組み(同 No.15)で震災対応シンポジウムの開催が紹介された
- ・学会 HP のリニューアル(同 No.21) 会員のメリットの明確化、利便性の向上を目的
- ・電子システム会議(同 No.31)のシステムを本部で購入。交通費の削減等が見込まれる。
- ・建築雑誌のコンパクト化(同 No.22) 情報の HP への移設でスリム化、支部研プロは支部で対応
- ・JAABE(同 No.23)の現状について報告。今後も継続予定。作品集の有償化が話題となった。
- ・建築会館喫茶(同 No.24)のブックカフェへの改築について説明された。
- ・会員増強(同 No.26)への活性化について説明があった。グループ会員制度は存続する予定。
- ・UIA 東京大会の報告(同 No.29) AIJ は多大な協力を行ったが、UIA 側に評価されていない
- ・一般法人化移行(同 No.30-1)について状況の説明があった
- ・2011 年度大会(関東)報告(同 No.34) のべ参加者が 1 万 3 千人を超えた
- ・建築物の保存要望が 2 件出された(No.35,36)

◇支部長会議

- ・特色ある支部活動(支部長会議資料 1)は東北支部の申請案が採用。今後も継続して申請すべき。
- ・支部規程(同 No.2-1)、選挙細則(同 No.2-2)の変更について説明された。いずれも、支部長(支部推薦理事)の選出方法が変更されること、支部常議員会の名称変更などによる変更である。内容について不明・疑問などの意見を 12/5 までに支部事務局または支部長へ連絡する。
- ・支部法人賛助会員の動向(同 No.4-3)について説明された。北海道支部は全国的に減少割合が小さいが、今後も健全財政を目指して勧誘を行う。

3 2011 年度 (7~9 月期) 決算報告について (菊地/資料 2-3)

- ・総務委員会委員長より当該期間の収支についての報告があり、了承された。
北方建築総合研究所から委託研究(2 年間、50 万円/年)があり、7 月の収入・支出項目に示すとおり。支部研の実施(7 月)、震災調査関連の基金取崩し(9 月)について特に説明があった。

4 「北海道建築設計会議」の報告について (田村/資料 2-4)

- ・9/21 に開催された幹事会について報告があった。参加団体からの報告として、各団体が主催する行事を中心に説明された。

5 第 36 回北海道建築賞の報告について (岡本/資料 2-5)

- ・資料に基づいて受賞内容を報告した。角支部長より表彰式および記念講演会の紹介があった。
2011 年 11 月 4 日(金)18 時 北大遠友学舎

6 技術士会との交流会の報告について (後藤/資料 2-6)

- ・資料に基づいて報告した。今後の継続を期待された。会議内容に関する質問があり、角支部長が補足した。

7 構造専門委員会主催見学会 (2 件) について (岡本/資料 2-7)

- ・資料にある 2 件(内 1 件は材料施工委員会と共催)について承認した。

8 北方系住宅・環境工学専門委員会共催見学会について (斉藤/資料 2-8)

- ・資料に基づいて説明された後、承認した。

9 特色ある支部活動について

(角／資料 2-9)

- ・支部長会議で説明したとおりであるが、次年度以降も申請を継続して行って欲しい。

10 次期役員選挙（支部長、代議員および常議員）について

(角／資料 2-10)

- ・候補者の推薦については、退任予定者が後任候補者を選び、本人の了解を受けた上で 11/30 までに支部事務局へ連絡する。ただし、選挙であるので選出されるとは限らない旨の説明を行う。代議員は次年度から 6→4 名に減り選出が 2 となるが、次点者が必要であるため退任の 3 名はそれぞれ候補者を推薦する。12/7 の常議員会で推薦者の状況を報告し確認を行うこととした。

11 委員の委嘱について

(岡本／回覧資料)

- ・環境工学専門委員会から出された委員委嘱について承認した。

12 後援依頼について

(岡本／回覧資料)

- ・以下 4 件について、本支部の後援を了承した。
 - ①北海道大学：「サスティナブルキャンパス構築のための国際シンポジウム」
 - ②（社）空気調和・衛生工学会北海道支部：「北海道地区講演会」
 - ③NPO 小樽ワークス：「札幌ミカエル教会とアントニン・レーモンド展（小樽巡回展）」
 - ④北海道：「平成 23 年度地震防災セミナー」

13 その他

(資料なし)

- ・2013 年度 AIJ 全国大会(北海道)の受諾について(角)
大会実施依頼が 12 月の理事会で出てくると予想されるので、会場確保の点から早期に検討すべきとの考えから大会の受諾について諮り、本部から要請があった場合に受諾することを決定した。詳細は幹事会を中心に決定するが、会期は 9 月第 1 週を中心に考えることとした。

次回日程 平成 23 年 12 月 7 日（水）18：30～ 支部会議室（予定）
あわせて、忘年会を行う